



主な内容

- 2……人権擁護委員、人権週間の行事(ふれ愛コンサートなど)
- 3……ひまわり、国津の社の行事、かがやき催物
- 4……二次救急実施病院、甘口こうじみそづくり、まちの話題

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

障害者が地域で自立して生活するために不可欠なのが、雇用の充実です。そのために市は、平成20年4月に「名張市障害者人材センター」を設置し、就労支援に努めています。しかし、景気低迷の中、企業の障害者雇用の状況が悪化していることもあり、障害者の特性にあった新たな雇用の場が求められています。

そんな中、平成21年2月に農業関係団体、福祉団体、市などが「名張市障害者アグリ雇用推進協議会(以下、「協議会」という)」を発足させ、障害者の農業分野での就労を目指しています。



障害者の雇用の場として期待される農業

協議会では、平成21年度から毎年、農業ジョブトレーナー養成研修会を開催し、障害者を受け入れる農家の負担を減らしたり、障害者の就労を支援したりする「農業ジョブトレーナー」を育成。現在、21人が登録しています。協議会が主催する農業就労体験



農業就労を支援する農業ジョブトレーナー

これは、農業分野での「就業者の高齢化」「後継者、担い手の不足」「耕作放棄地の拡大」といった課題と、「雇用率が低い」「就労の選択肢が少ない」「工賃が安い」といった障害者雇用の課題がある中で、農業経営と障害者の労働力を結びつけようとするものです。

現在のところ、就労体験の受け入れ農家は増えているものの、農業分野での障害者の就労まで至っていません。協議会では、今後、農業ジョブトレーナーの活動機会を増やし、体験の充実やモデル雇用などに取り組んでいきます。

就労体験には、福祉事業所の利用者などが参加したり、収穫体験では、伊賀つばさ学園中学部の生徒が参加。農業の喜びや、楽しさを実感することで、就労先の一つとして「農業」を意識してもらおうとしています。

障害のある人に農業の魅力を知ってもらいたい



農業ジョブトレーナー 羽鹿 秀仁さん(安部田)

農業ジョブトレーナーになろうと思ったのは、障害のある人にも農業の魅力を知ってもらいたいという思いからでした。

農業就労体験では、受け入れ農家とその日の作業について注意点を確認し、体験者に作業内容や安全な道具の使い方を説明した後、一緒に農作業をしています。障害のある人に話や説明をするときは、特別視しないということを心掛けています。当然、相手の状況を気にかけることは大切ですが、できる限り健常者と同じように接するようにしています。

農業にはいろいろな作業があるので、障害の程度に応じて可能な作業があると思います。まだ実際の就労には至っていませんが、まずは、就労体験などを通して農業の魅力や仕事をする事の喜びを知ってもらえたらうれしいですね。これからも、就労に向け、障害のある人と受け入れ農家の橋渡しをしていきたいと思っています。

農業ジョブトレーナー

障害者の農業就労を応援

12月3日～9日は障害者週間

市内には、心身に障害のある人が約4000人暮らしています。障害のある人は年々増加していますが、多くの人が、個性を生かし、働くことで自立しようとしています。

市は、農業団体や福祉団体などの関係機関と「名張市障害者アグリ雇用推進協議会」を設立し、障害者の農業分野での雇用、就業を目指しています。

今号では、協議会の取組みの一つである農業ジョブトレーナーの活動を紹介します。

☎産業政策室 63・76223
高齡・障害支援室 63・7591



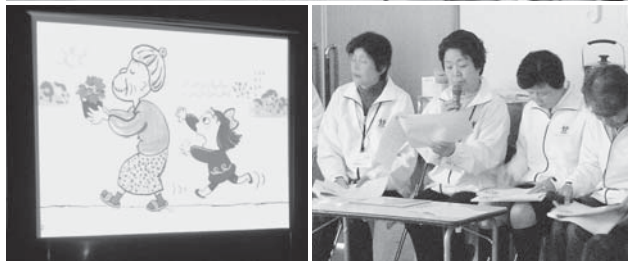
▲受け入れ農家の田んぼで、福祉事業所の利用者が農業就労体験

▲農業ジョブトレーナーに見守られる中、収穫体験する伊賀つばさ学園の生徒

わたしたちのまちの 身近な相談パートナー 人権擁護委員

「人権擁護委員って何をしているの?」と思っている人も多いのではないのでしょうか。
今号では、人権擁護委員を身近に感じていただくために、人権擁護委員の活動を紹介するとともに、人権擁護委員の福住幸二さんにお話を伺いました。

人権啓発室 ☎63・7909



大きなスクリーンを使って紙芝居の読み聞かせを行う人権擁護委員の皆さん

関係機関と連携して 問題解決へ

現在、市内で法務大臣の委嘱を受けた人権擁護委員11人(男性5人、女性6人)が活躍しています。経歴や職業はさまざまですが、皆さん人権擁護に理解があり、地域に根ざした活動にかかわってきた

人々です。伊賀市の委員17人と「伊賀人権擁護委員協議会」を作って、互いに交流・連携しながら「相談」と「啓発」活動を行っています。
相談活動では、法務局伊賀支局で行う常設相談(毎週月・水・金曜日)、市民情報交流センター(希中央5)で行う特設相談(毎月第

2火曜日)、社会福祉施設を訪問して行う特設相談、津地方務局が開設する各種の電話相談(ホットライン)などに取り組みほか、各委員の自宅へ直接寄せられる相談にも対応します。
内容によっては、法務局や市役所などの関係機関と連携を取り合いながら、解決に向けて相談者をサポートしています。



保育所(園)・幼稚園でも啓発活動

人権啓発活動も大切です。全ての人々が心豊かに安心して生活できる社会を実現するため、さまざまな人権啓発活動を行っています。
中でもユニークな取組みとして、保育所(園)・幼稚園への人権啓発訪問があります。これは、幼児に人権の大切さを感じ取ってもらうために、人権をテーマにした紙芝居の読み聞かせを行うというものです。一人二役は当たり前で、声を使い分けて巧みに演じます。

さらに、こうした相談・啓発活動の機会を縫うように、人権擁護活動に必要な最新情報や、相談者が安心して相談できる相談技術を身につけるために協議会で研修会を実施しています。
人権擁護委員はこのようさまざまな活動に、ボランティアとして積極的に取り組んでいます。

自分が大切にされている存在と知ってほしい



人権擁護委員
福住 幸二さん
(蔵持町原出)

わたしたち人権擁護委員は、人権相談を行っています。「人権」という言葉にとらわれず、どんな相談でもしていただきたいと思っています。「こんなことを聞いていいのかな」ということもどんどん気軽に相談していただきたいですね。どこに相談したらいいかわからないときにはわたしたちが、専門の相談機関へと橋渡しさせていただきます。

人権擁護委員の活動として相談以外にも、子どもたちがいじめなどの悩み

を手紙で相談できる「子どもの人権 SOS ミニレター」を学校に届けたり、子どもたちから法務局に届くミニレターに返事を書いたりしています。親や先生にありのままの自分を出せない子どもたちが増えています。手紙を書いてくれた子どもたちが、元気や勇気を持てるきっかけとなってくればと思います。これからも、子どもたちには、自分自身がみんなから大切にされている存在と知ってもらえるような活動をしていきたいですね。

人権擁護委員

(敬称略・順不同)

- 北川 廣一(百合が丘西3)
- 奥野 保三(大屋戸)
- 國富 静代(つつじが丘南7)
- 福田 悦子(上八町)
- 福住 幸二(蔵持町原出)
- 山本 佳世(桔梗が丘3)
- 田畑 千代野(東田原)
- 森嶋 秀和(赤目町柏原)
- 植野 あさ子(桔梗が丘5)
- 久原 宏(つつじが丘北10)
- 坂井 啓子(下比奈知)

人権週間(12月4日～10日)にちなんだ行事

■人権週間特設人権相談所を開設します

近所のもめごと、家庭内の問題、いじめや体罰、職場でのセクハラなど人権侵害に関する相談に、法務大臣の委嘱を受けた人権擁護委員が応じます。相談は無料で秘密はかたく守られます。

日時 12月1日(木) 午前10時～午後3時

場所 市民情報交流センター(希中央) ※ 申込不要

■人権作品展

市内小・中・高・高専生、一般の人権標語・ポスター、写真を展示
期間 12月1日(木)～11日(日)
場所 市役所1階ロビー

■人権週間街頭啓発

日時 12月2日(金)午後4時30分～(一部午後2時30分～)
◎市内各大型店舗と名張駅、桔梗が丘駅周辺で啓発物品を配布

■ふれ愛コンサート(入場無料・申込不要)

日時 12月4日(日)午後1時30分～
場所 アドバンスコープ ADS ホール(松崎町)

▼人権作品の表彰と朗読発表
▼宮里 新一 Talk&Live
生き直しコンサート
～ハンセン病からの解放～

ハンセン病と闘いながら、詩を書き、歌を歌っていた人間がいたということ、一人でも多くの人に知ってもらいたい。私の生きざまを伝えたい。



「絶対おかしい」と思った日

わたしは、小学生のころから同和問題について学んできました。ですから「わたしには差別意識はない」と自負していました。

社会人になってからも、とりわけ人とかかわりを大切にする職場であり、「人権」を意識する毎日でした。でも、それは仕事という枠の中で、自分自身のこととして本気で取り組んではいなかったのです。そのことに気づかせてくれたのは、こんな出来事があったからです。

数年前、地域での同和問題の研修会に参加したとき、ある参加者が、「こんなにするから、逆に差別がなくならんへんねん」と言っているのを聞きました。

わたしは「正しいことを知らないから知らない」と内心反発しました。でも、そこにいたのは「それはおかしいですよ」と言えず「しょうがないなあ」と流してしまっただけでした。

それからしばらくして、被差別部落のフィールドワークに参加しました。わたしたちを案内してくれた被差別部落の青年は、子どもたちの被差別体験や、見えにくくなったといわれながらも決してなくなっていない部落差別の現状を話してくれました。

そんな彼が、「子どもの時も、

大人になってからも、部落問題学習の時間や研修会が嫌



だった。「こんなことしても差別はならない」と思っていた」と話しました。「あの時の参加者と同じようなことを言っている」

彼は続けて、「一人ひとり自分が自身自身のこと置き換えて本気で考えて行動してほしい。ぼくがこ



んなことしても差別はならない」と思っていたのは、学習や研修を受けても、ほとんどの人が他人事と考えて本気にならないことへのいら立ちだった」と話しました。

同じような言葉でも、そこに込められた思いはまったく違うことを知り、頭では理解したつもりでも、実は「他人事」と思っていたあの時のわたしがよみがえりました。彼の話を聞くわたしの前を、右から左へ同じ道幅で変わりなく伸びている道路。それなのに「ここから先は違うところ」とされ、差別の対象とされる不合理。「絶対おかしい!」これまで経験したことがない感情が、わたしの中に生まれました。

国津の杜の行事

草木染教室 栗の皮とコチニールでシルクストールを染めましょう。

日時 12月9日(金) 午前9時30分~正午
講師 植本美代子さん 定員 10人
参加費 2,000円
持ち物 作業しやすい服装、タオル、エプロン、ゴム手袋

木工教室 お正月の花を植える木製のプランターを作りましょう(縦30cm・横65cm・高さ25cm)。

日時 12月10日(土) 午前9時30分~正午
講師 新忠勝さん、山口尚彦さん
定員 10人 参加費 1,500円
持ち物 作業しやすい服装、タオル、軍手

韓国料理教室 本場のメニューに挑戦! 韓国式さしみ丼、もやしチャプチェなど

日時 12月10日(土) 午前10時~正午
講師 李辰淑さん
定員 10人 参加費 1,300円
持ち物 エプロン、三角巾、タオル

陶芸教室 信楽の土で「長皿5枚組」を作りましょう。

日時 12月13日(火) 午前9時30分~正午
講師 中嶋泰子さん 定員 10人
参加費 2,200円
持ち物 作業しやすい服装、タオル、エプロン
☆☆☆☆☆
申込 11月28日(日)から12月5日(日)までに、電話で問い合わせ先へ ※先着順。参加者が少ない場合は中止。参加費は材料費を含む

12月の献血

日時 12月2日(金) 午前9時30分~午後零時30分、午後2時~4時
場所 市役所
日時 12月14日(水) 午後2時~4時
場所 イオン名張店(元町)

こども支援センター かがやき催物

開館時間 午前9時30分~午後5時
※日・月曜日、祝日(月曜日が祝日のときは翌日休館)、年末年始は休館
▼「はじめて広場」12月9日(金) 午前10時30分~
☆「かがやき」を利用したことがない人は、気軽にご参加ください。
▼親子で遊ぼう 12月17日(土) ラ・ベスカによるクリスマスコンサート
12月14日(水) クリスマスリースづくり(材料費50円) ※いずれも午前10時45分~



こども支援センターかがやき (桔梗が丘西3) ☎67-0250

給与所得者の個人住民税は「特別徴収」で納税を

給与所得者(パート・アルバイトなどを含む)の個人住民税(市民税と県民税)は、法令により、事業者が給与から特別徴収(天引き)して、給与所得者に代わって市に納税することになっています。
すべての従業員から特別徴収を行っていない会社などは特別徴収への切り替えをお願いします。
<事業者の皆さんへ> 所得税は源泉徴収しているが、個人住民税は特別徴収していないということはありますか。
税額の計算は市で行います。所得税のように税額の計算や年末調整をする手間はかかりません。
<従業員の皆さんへ> 特別徴収することで納税の手間が省けます。また、普通徴収が原則4回払いに対して、12回払いとなるので1回あたりの負担が減ります。
課税室 ☎63-7429

もうすぐお正月!! みんなで凧を作って祝おう

日時 12月25日(日) 午前9時30分~正午
場所 勤労者福祉会館(夏見)
内容 山口地方の凧「泣き鬼」を作ります。
対象 保護者が同伴または送迎できる人
定員 30人 ※先着順 参加費 500円
持ち物 絵の具・絵筆またはクレヨン
申込 12月11日(日)までに電話またはファクスで問い合わせ先へ

夢と技の伝承カーペンター(田鍋) ☎68-0284

「手作り教室(正月向けの寄せ植え)」および「元気体操」

日時 12月9日(金) 午後1時30分~3時30分
場所 (社)名張市シルバー人材センター(丸之内)
講師 稲森 敏昭さん(名張園芸福祉ボランティアの会)
対象 市内在住の60歳以上の人
定員 25人 ※先着順
参加費 1,000円(材料代)
申込 12月2日(日)までに電話で問い合わせ先へ

名張市シルバー人材センター ☎63-6800

農業用使用済プラスチックのリサイクル回収(有料)を実施

農業プラスチック類は野焼きが禁止されています。「農業使用済プラスチック」の処分を希望する人は下記のとおり搬入してください。
日時 12月18日(日) 午前9時~午後3時
場所 JA伊賀南部カントリーエレベーター駐車場(上小波田)
対象 ハウス用被覆ビニール、畦シート、肥料の空袋、育苗箱など
処理費用 1kgあたり80円(消費税込み)
◎詳しくは問い合わせ先へ
JA伊賀南部配送センター ☎0120-370-931

次号予告 びばりっ子すくすく計画 第2次 素案ほか

伊賀地域二次救急実施病院

【小児科以外の診療科】

12月

健康福祉政策室 ☎63-7579

実施時間帯

- ◆平日…午後5時～翌日午前8時45分
- ◆土・日曜日、祝日…午前8時45分～翌日午前8時45分
- ※ただし、岡波総合病院は、月曜日…午後5時～翌日午前9時/第2・4日曜日、祝日…午前9時～翌日午前8時45分
- ◆平日昼間午前8時45分～午後5時は、名張市立病院で二次救急を実施

日	月	火	水	木	金	土
				1名	2名	3名
4名	5名	6名	7名	8名	9名	10名
11名	12名	13名	14名	15名	16名	17名
18名	19名	20名	21名	22名	23名	24名
25名	26名	27名	28名	29名	30名	31名

- ☆みえ子ども医療ダイヤル(☎#8000)…子どもの急病やケガの無料相談(毎日午後7時30分～11時30分)
- ☆三重県救急医療情報センターコールセンター(☎64-1199)…24時間体制で受診可能な医療機関を紹介

名張市立病院 (☎61-1100)

- ◆救急車で搬送以外は必ず事前にご連絡ください。
- 上野総合市民病院 (☎24-1111)
- ◆開業医・応急診療所の紹介、救急車で搬送のみ受け入れ
- 岡波総合病院 (☎21-3135)
- ◆救急車で搬送以外は必ず事前にご連絡ください。

- ◎受け入れ対象は、重症患者です。実施日以外は救急受け入れを行いません。
- ◎名張市立病院小児科の時間外の二次救急は、市立病院の二次救急実施日に実施
- ◎岡波総合病院小児二次救急は、かかりつけ医、または、応急診療所の紹介、救急車で搬送による入院が必要な重症患者の場合のみ受け入れを行います。受診後は必ず入院となります。

◎救急車の適正利用をお願いします

田舎の味おばあちゃん講座 甘口こうじみそづくり

日時 平成24年1月17日(火)～20日(金)、1月24日(火)～27日(金) ▼午前の部9時～▼午後の部1時30分～

場所 農業研修センター (蔵持町芝出)
内容 地元産大豆を使った無添加で簡単にできるこうじみそづくり(5kg)

対象 市内在住の人
定員 各12人 ※希望者多数の場合は抽選
参加費 2,300円

申込 11月28日(日)から12月7日(日) (消印有効)までに、往復はがきに「みそづくり希望」、参加希望日(午前・午後の別)、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて農業研修センター(〒518-0751 蔵持町芝出6)へ ※1人1枚で申込(複数の希望者の明記は無効)

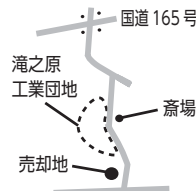


☎ 63-7129

「滝之原市有地公募売却」事業者を再募集しています

売却地 滝之原 3905番他20筆(31,704.18㎡)
最低売却価格 8,500万円

応募期限 12月22日(日)まで
◎公募要項は市役所4階管財室で配布しています。市ホームページからも出力可。
応募方法など詳しくは問い合わせ先へ



☎ 管財室 ☎63-7336

観阿弥創座の地で 連吟や仕舞を奉納 “観阿弥祭”



観阿弥祭が、11月6日、観阿弥ふるさと公園で開催されました。地元の音楽愛好者による連吟や仕舞の奉納のあと、子ども狂言の会が狂言と連吟を披露しました。

年末の交通安全県民運動を実施

☎ 都市計画室 ☎63-7749

- 実施期間 12月11日(日)～20日(日)
- 運動の重点
 - ①子どもと高齢者の交通事故防止(特に、夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通安全対策の推進)
 - ②すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ③飲酒運転の根絶

高齢者が運転する大型バイクによる死亡事故が、10月9日、市内で起きました。これにより、市の交通死亡事故ゼロは401日で途絶えました。市では「交通死亡事故撲滅」に向けて引き続き取り組みを進めていきます。市民の皆さんも交通ルールを守り、交通事故をなくすようにご協力をお願いします。

広告

広告

近大高専からのお知らせ(公開講座・入試日程)

- 近大高専 第8回市民公開(土曜)講座のご案内(どなたでも。無料)
- 開催場所 近畿大学工業高等専門学校 1号館 大教室
- 申込方法 メール、FAXまたはハガキで、「住所、氏名、電話番号、第8回希望」を記載の上お申し込み下さい。(当日参加可/電話可)
- 日 時 12月10日(土)13:30～15:30
- 題 目 ものづくり最先端
- テーマ1 世界最高速ビデオで見る世界：江藤剛治(近畿大学理工学部教授)
- テーマ2 ロボット技術：久貝克弥(本校教授)
- テーマ3 光通信技術：大島茂(本校教授)
- *市民公開(金曜)講座も実施しています。詳しくは本校HPをご覧ください。
- 学生募集
- 入学試験日程(募集人数 総合システム工学科160人)
- A日程 推薦(学業・総合力) 出願期間 1/5(木)～1/11(水) 試験日1/16(月)
- 試験会場：本校、伊賀、大阪、四日市、伊勢、熊野、奈良、和歌山
- 選考方法：提出書類、面接
- B日程 一般(専願・併願) 出願期間 1/16(月)～1/21(土) 試験日1/25(水)
- 試験会場：本校、伊賀、大阪、四日市、伊勢、熊野、奈良、和歌山
- 選考方法：学科試験、提出書類、面接
- C日程 自己推薦 出願期間 2/9(木)～2/16(木) 試験日2/19(日)
- 試験会場：本校 選考方法：提出書類、作文、面接

近畿大学工業高等専門学校 ☎ 近畿大学
〒518-0459 三重県名張市春日丘7番町1番地
Tel (0595)41-0111 Fax (0595)62-1320
E-mail: jimub@kctc.ac.jp *詳細はHPで http://www.ktc.ac.jp/

お庭のお手入れ お任せください!!

何でもご相談下さい

空き地の草引き 剪定 消毒施肥

芝貼り及び管理 空き地及び畦の草刈り

見積無料

お気軽にお電話を ☎0595-21-9823

INAX 株式会社 INAX 総合サービス 上野事業所 伊賀市三田1030